

令和4年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2262号農林水産省農村振興局長通知)第11の3の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和4年度に交付金事業を実施した5地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が3地区、総合的に低調と認められる地区が2地区との評価結果となった。総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた1地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、重点指導の要因となった目標値に関する取り組みが精力的に実施され、目標の達成状況が改善されことから、重点的な指導、助言等が必要ではない状況となった。

3. 各地区の評価結果

5件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評 価 コ メ ン ト
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
九州	福岡県	みやま市	みやま市6次化推進地域協議会	/	●	●	● ■ ▼	/	/	/	/	C	実施体制は、おおむね整備されているが、主要な取り組みのうち目標達成のための要となるHPの情報更新の取組が不十分で、かつ、事業実績は目標を大きく下回っていることなどから、総合的な評価はCとした。
九州	福岡県	広川町	『ひろかわ』ブランド推進協議会	/	●	●	● ■	/	/	/	/	A	主要な取り組みは計画どおりに実施され、事業実績は目標を達成しており、実施体制も3つの専門チームを設置し、役割を分散させ効率よく活動できる体制となっていることから、総合的な評価もAとした。
九州	福岡県	福岡市	小呂島しまづくり協議会	/	/	●	● ▼	○ □ △	/	/	/	C	主要な取り組みはおおむね計画どおりに実施され、実施体制も4つの部会を設置し、併せて行政や専門家と連携し、役割を分散させ活動できる体制となっており高く評価できるが、普及啓発、広報効果の拡大の測定指標である協議会HPのアクセス数については、機械的な問題により目標を大幅に下回っている。このため、総合的な評価はCとした。
九州	熊本県	南阿蘇村	地域資源を活かす会	/	/	/	●	○	○ □	/	/	A	事業実績は、目標指標の3つについて目標値が設定されていないことからB評価であるものの、計画していた取組は、ほぼ計画どおりに実施されている。実施体制は、「次世代型農場」が目指す機能に応じた大学等の専門家を配置したチームを編成し、役割を分担するとともに、事務局が統括して機能的に取り組める体制であることから、総合的な評価もAとした。
九州	鹿児島県	錦江町	錦江町地域活性化協議会	/	/	/	●	○	○ □	/	/	A	主要な取り組みは計画どおりに実施され、事業実績は目標を達成しており、実施体制も3つの部会を設置し、役割分担と実効性を発揮する体制となっていることから、総合的な評価もAとした。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト事業 ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

ハード対策 ☆●交付対象年度(計画) ★●交付対象年度(実施済) ◇●目標年度(計画) ◆●目標年度(実施済)

重点指導 ▼●重点指導(通知) △●重点指導(結果報告予定) ▲●重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調 評価対象外●評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域活性化対策)実施要領(平成30年3月28日付け29農振第2262号農林水産省農村振興局長通知)第11の2の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:松添 直隆(熊本県立大学教授)

委員:須川 一幸(株式会社地域振興研究所所長)、高木 三鈴(元熊本県職員)

【令和4年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

- 1 日 時 :令和5年7月10日(月) 13:30~16:00
- 2 場 所 :熊本地方合同庁舎 A棟10F 農政第7会議室
- 3 議事概要
 - ① 令和4年度評価対象地区の評価方法について
本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。
 - ② 令和4年度評価対象地区の評価及び取組状況について
令和4年度に事業を実施した5地区の、取組概要、評価案及び第2回評価委員会予定等について説明し、質疑応答を行った。
- 4 主な意見
 - 評価結果の概要については、昨年の評価結果と比較してどのような変化があったか、例えば、A評価が6地区から7地区に増加、一方、C評価は7地区から3地区に減少したなどの整理を行って頂きたい。
 - 計画を提出する時点における目標値(評価目標)が重要であり、事業者はその点を十分意識しながら事業を実施することが必要。

第2回評価委員会

- 1 日 時 :令和5年8月2日(水) 13:15~15:30
- 2 場 所 :有限会社 ひまわり亭 研修室
- 3 概 要
 - ・第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案
令和4年度に事業を実施した5地区の評価案等に関して、了承を得た。
また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して、了解を得た。
- 4 主な意見
 - 評価最終年度に重点指導対象となった場合、翌年度の改善状況報告を定量的に評価するために報告様式を検討することが必要。